

この冊子は、アポキル®錠を処方された  
犬の飼い主さまのためのご案内です。

zoetis®

# もう“<sup>かゆ</sup>痒み”と 戦わない。

犬のアレルギー性皮膚炎または、  
犬アトピー性皮膚炎と診断された  
犬の飼い主さまへ。



# 犬の“<sup>かゆ</sup>痒み”

痒みを伴う犬の皮膚病は様々な病気があります。中でも犬アトピー性皮膚炎やアレルギー性皮膚炎は、特定の物質(抗原)にからだがかゆ過敏に反応し、激しい痒みを繰り返すことが特徴です。

## 原因となる主な物質(抗原)



犬は、痒みを感じると、その部位を引っ掻いたりなめたりします。そのことで皮膚はますます過敏になり、炎症が増幅し、さらなる痒みへとつながります。

“<sup>かゆ</sup>痒み”を早期に緩和し悪循環を断ち切ることが治療においては極めて重要です。

本日、アポキル<sup>®</sup>錠を処方します。

アポキル<sup>®</sup>錠とは

- ステロイド剤やシクロスポリン剤とは全く異なる種類の、新しいお薬です。
- ある特定のサイトカイン(細胞間の情報伝達物質)の作用を抑えることで、痒みや炎症に素早く効果を示します。

## ちゃんへの アポキル<sup>®</sup>錠の与え方

1回  錠を、1日2回  日間、与えてください。

※ 食事と一緒に与えても、空腹時にアポキル<sup>®</sup>錠だけで与えてもかまいません。

そのあと、

- ✓ 再来院してください。
- ✓ 1日1回に回数を減らしてください。

※ アポキル<sup>®</sup>錠で最も多くみられる副作用は、嘔吐や下痢など胃腸の症状です。普段と異なる症状が見られた場合は、獣医師にご相談ください。



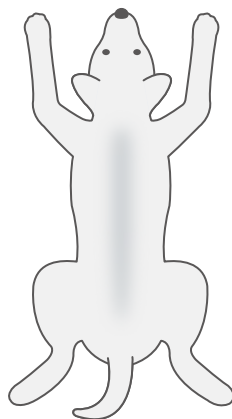
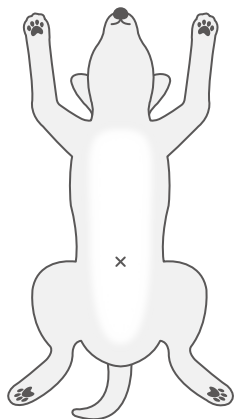
今日の

ちゃんの状態の記録

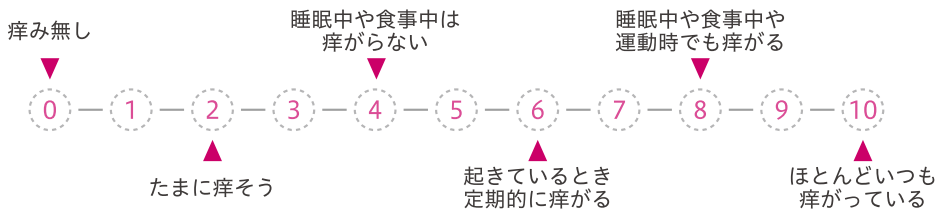
お腹側

皮膚の状態

背中側



痒みの程度



犬アトピー性皮膚炎・アレルギー性皮膚炎は、痒みや皮膚炎が治まっても、定期的に皮膚を検査し、悪化要因の探索と適切な治療を受けることが重要です。

次回、 月 日頃にご来院ください。

ゾエティス・ジャパン株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7